



大樹のこころ

どうする!?家康学習

本校では伝統的に「家康学習」を行ってきています。「家康に学び、家康を超える」を合言葉に、1年生から6年生まで徳川家康の生き様を学んでいます。ご存知のように、来年度のNHKの大河ドラマは「どうする家康」ということで、大樹寺や本校への注目が高まっています。今月に入り、マスコミの取材が相次いでいます。一昨日は日テレの「秘密のケンミンSHOW」のスタッフが、本校にある家康の遺訓の石碑やVISTAライン、校内の家康関連の展示物などを撮影していきました。昨日は本家NHKが、家康を学ぶ子供たちの様子取材に来ました。



撮影のメインは6の3で行われた「家康学習」です。学習課題は「どうする!?家康学習」で、これからどんな学びをしていきたいのかを考えていく授業でした。担任の玉腰先生は「大樹寺学区のすごいところ」を子供たちに発言させていきます。「VISTAライン」「大樹寺門前の戦い」「登誉上人」「家康の自立」「祖洞和尚」「旗かけの松」といった大樹寺自慢がどんどん出てきます。さすが5年間家康学習に取り組んできた子供たち。大人でも知らないようなことを述べていきます。自慢の一つとして、家康の遺訓をクラス全員が目閉じて暗唱する場面もありました。素晴らしい。



大樹寺のすごいところが出尽くしたところで、玉腰先生は徳川家康ゆかりの寺社である日光東照宮、久能山東照宮、そして大樹寺を紹介しました。「日光東照宮のある日光市の年間観光客数が1000万人。久能山東照宮の静岡市は2300万人。では大樹寺のある岡崎市の観光客数は？」と玉腰先生は子供たちに投げかけます。答えは「360万人」。他の寺社に比べて少ない事実に子供たちはいきり立ちます。「今までやってきた家康学習。最後の6年生でどうしたい?どうする!?家康学習」と玉腰先生は問いかけていきます。子供たちはチームになって「家康学習の集大成をどうするのか」を考えていきました。さあ子供たちは何を考え、今後はどのような学習を展開したいと望んだのか。それは番組を見てのお楽しみです(笑)。



授業風景の撮影後には、子供たちへの個別インタビュー。家康学習で学んだことや家康に対する思いなどを語っていったようです。



番組名や放送日などは、局の方針で今は内緒とのこと。放送日1週間前には解禁となるそうで、時期が来たらお知らせしたいと思います。実感する「家康ブーム」の到来。今年度・来年度と大樹寺学区は大いに盛り上がりそうです。